

だいたう

議会報告

日本共産党
大東市議会議員団

大東市谷川1丁目1-1
議員団控室直通
TEL/FAX 871-5588



TEL.090-3864-5037

市議員
つとむ
いづみ



TEL.090-1079-8939

市議員
かつこ
あきこ



TEL.090-7099-8429

市議員
しげる
とびた

法律相談

11月2日(月)7時~
大東市民会館
※先着順です
871-5588まで

全議員視察(10/1~2)

【安城市】

「環境首都」をめざして
コンテストに応募(最高3
位に入る)、市総合計画に
環境対策を盛り込む。

①「エコサイクルシティ」
—自動車モーターリゼー
ションからの脱却をめざ
し、自転車での通勤・移
動を推奨。(市内の南北方
向は私鉄路線があるが、
東西方向が不便なため
「明治用水」を活用してサ
イクルロードを建設)

②太陽光発電—1キロ当
たりの補助金(国七万五千
円、県五千元、市九万五
千元)、1戸平均4キロ
ワットだから、1戸で60
〜70万円の補助になる。

③レジ袋削減—事業者(7
社)・市民団体・市で推進
協議会を結成、レジ袋有
料化を実施。

(裏面につづく)

開発計画の概要と問題点

平野屋会所跡地の「開発計画」 市に提出される!(10月6日)



党議員団の調査で会所跡の開発申請が市に提出され、10月6日付で受理されていることがわかりました。開発申請者は「住」で、ユニオン設計が代理申請。開発面積は6948㎡で、建売住宅を54戸建てる予定です。この計画が実行されれば、貴重な会所の歴史的価値が大きく損なわれることは明らかで、行政の対応が注目されます。

< 接道 > 府開発指導担当は「南側の一方向でよい」といっている

< 敷地の造成 > 現況より平均20cm土盛する

この程度で、府文化財指定の保全との関係でクリアするか

< 地下の掘り込み >

住宅内の道路敷—開発面積(約7000㎡)のうち、約2000㎡で28%

・道路地下に下水管(深さ1.9m~2.6m)を入れる

・道路両端に雨水地下貯留ボックス(深さ約2m)を入れる

「だんじり広場」の地下に「防火水槽」(40トン)をつくる

開発面積の3分の1近くが深く掘り込まれ、地下の遺跡が破壊される

< 水路 > 【北側】現況水路の東半分(折れ曲がりまで)は「住」の敷地内なので、地下に管を入れ、西に流す(上部は官民境界まで宅地化する)

【南側】—提供道路に取り込むので、管理者(市土木課)との協議が必要

< だんじり広場 > 都計法の「提供公園」として確保する(面積=303㎡、全体の4%)

公園は台形で、東西幅—北端11m、南端15m、真ん中13m

だんじり小屋前の東西幅=約10m(道路5.7+1.3+1.8+余地1.8)

< 船着場 > 上部は宅地化する

【今後の行政協議の流れ】

・大東市の要綱に基づく協議—「協議書」の提出(10月6日)【市は各課に照会・合議】

・大東市と業者とで「協定書の締結」、市長の「意見」を府に提出

・都市計画法に基づく「事前協議」(市と府の2段階で、審査期間は通算で1週間位)
【府は関係各課に合議】

・都市計画法29条に基づく「許可申請」(審査期間—2週間位)

09年9月議会

古崎勉議員の一般質問

先の総選挙で誕生した新政権に、わが党は「是非々々」国民の目線で見てよいものには大いに協力を惜しまない、反対に国民生活を脅かし、日本の将来を危うくすることには断固反対―立場を表明しています。そして民主党の政策の基本点には、安全保障などの外交と内政面で自民党と変わらな

い内容が含まれています。市長は市政に責任をもつ立場から、この結果にどういった感想をお持ちか。また、民主党は後期高齢者医療制度の廃止を公約しており、わが党も賛成ですが、これが実施に移されるなら、どう対応されるつもりか。

りそな銀行のサービス低下について

同銀行は市役所内の窓

声が聞こえてきます。一方、職員食堂は調理に当たると、食事が出来上がるまでの待ち時間が以前と比べて長くなっています。昼休みが60分から45分に短縮されたことにより、市役所外へ食べに行くことが厳しくなっており、勢い職員食堂での待ち時間が問題となります。



(答) サービス低下とは考えていない。従って複数化や変更は考えていない。(副市長) 他の銀行から指定金融機関を受ける申し出があれば、検討する。

職員食堂について

職員食堂の昼休み休憩時間が九月から45分に短縮され、職員の間から不満の

出れば申し入れていく。昼休み時間は現行でいきたい。

道路補修などの工事期間の短縮について

要望してから実現するまで半年もかかるのは時間がかかり過ぎで、相談者から「どうなっているのか、市に言ってくれてるのか」といった苦情が寄せられ、我々、議員が真剣に対応できていないかのような誤解が生じる恐れもあります。この点については以前の私の質問にたいして「契約方式を変える」旨の答弁をいただいています。その後、あまり改善されていないように感じますが、どうなったのか。

(答) 最低でも入札から二ヶ月はかかるが、それ以上に長い場合は短縮に努める。

巡回バスのコースと停留所について

10月から試行で運行が始まりますが、阪奈道路

の渋滞で、阪奈道路を通らず迂回するコースが設定されています。しかし、太子田や赤井の住民から「阪奈道路が渋滞するのはわかるが、旧ハナテン中古車センターから西へ旧松川のお好み焼き屋まで阪奈道路を全く通らないのでは太子田や赤井の市民にとってメリットがない。その間にはいくつか医院もあり、行きたいのに行けないという不満が出されている」との苦情が寄せられています。そこで質問しますが、コースの変更は可能なのか、答弁願います。

また、今回のコースでは停留所四箇所が片側のみとなっています。とりわけ西部図書館前が片側のみというのは余りにも問題です。大勢の市民が利用している公共施設をつなぐのが巡回バスの歌い文句であるはずなのに、これでは話になりません。何とか打開策を講じるべきですが、答弁を求めます。

(答) コース変更は研究していく。片側バス停は早急に改善したい。

(表面からのつづき)

【江南市】

①補助金の見直し―課長15人で検討部会を設置、二百八十件すべての補助金を精査、さらに市議会各派代表で構成する「検討審査委員会」がチェックし、「廃止」5件、「縮小」5件(補助金総額4億7千万円のうち、見直し額は5千万円)。

通常、行政内部だけでの見直しはよくあるが、議会も入った見直しは珍しい。

②「乗り合い」タクシー―「予約制」とコースを回る「定期便」の二種類がある。「定期便」の料金は100円、「予約制」の料金は通常のタクシー運賃の半額(半額を市が補助)。

同市では以前、巡回バスの運行を検討したが、採算性などからワゴン車での運行を実施してきた。それでも採算が厳しいので、「乗り合いタクシー」に切り替えた。

この点は、本市も参考になるやり方である。